

Vol.150

CONTENTS

- 2 創立60周年の挑戦
- 3-6 見学旅行体験記
- 7-8 留学報告
- 9 オープンキャンパス
- 10 高専祭
- 11 大阪・関西万博に参加して
- 12-13 新任教員紹介
- 14 行事予定



創立60周年の 挑戦



校長 長尾 和彦

釧路高専は、この度、創立60周年という記念すべき節目を迎え、新たなステージへと力強く踏み出しました。長きにわたり本校を支えてくださった全ての皆様に心より感謝申し上げます。

去る10月18日には記念式典を盛大に執り行い、国会議員、市長をはじめ、地域社会や産業界から多くの来賓の方々にお越しいただきました。式典後には高専祭も見学され、学生の皆さんと直接交流を深められていました。来賓の皆様は口々に「学生の皆さんが本当に元気に、そして主体的に活動していて嬉しい」と称賛され、その大きな期待を肌で感じることができました。皆さんの熱意と活気が、この60周年を祝う最高の贈り物となりました。

本校が生まれたのは、日本が高度成長のただ中にあった時代です。地域産業や国家の急激な発展を支えるため、中学生卒業後の早期教育によって、実践的な技術を身につけた若きスペシャリストを育成する高等教育機関として誕生しました。この高専のシステムは、技術力、応用力、そして困難を乗り越える発想力に優れた人材を育成するものとして、世界的にも注目されています。

しかし、時代の要請は変化しました。今、社会が直面しているのは、地球環境問題、急速な人口変動、地域経済の停滞など、複雑に絡み合った課題の数々です。技術者は単に「モノを作る」役割から、この複雑な課題を見つけ出し、解決に導く「社会のお医者さん (Social Doctor)」へと役割を進化させています。

この新たな使命を果たすため、学生の皆さんには、技術の基盤の上に、自ら価値を生み出す起業家精神 (アントレプレナーシップ) と、既存の枠にとらわれない創造性が不可欠です。

特に、生成AIをはじめとする新しいデジタル技術が猛烈なスピードで発展する今、これを「脅威」として受け止めるのではなく、積極的に学び、「自分たちの道具」として使いこなす姿勢が、未来を切り拓く鍵となります。

本校では、この期待に応えるため、教育体制を進化させます。

I 地域コンソーシアム構想の推進

地域企業、自治体、金融機関などと一体となり、地域課題の解決を題材としたPBL (課題解決型学習) を展開します。学生の皆さんが、教室から踏み出し、地域のダイナミズムを肌で感じる環境を整備しています。

II クリエイター人材育成プログラムの強化

ゲーム開発、3Dデザイン、VRコンテンツ制作といった分野を体得できるプログラムを策定しました。これは、日本の強みであるコンテンツ産業への貢献を目指すと同時に、皆さんの持つ技術的素養に創造的な側面を掛け合わせるトレーニングです。

いつの時代も、未来を切り拓き、社会に変革をもたらす力は、若者に期待されます。60年の歴史という確かな基盤の上に立ち、未来を創造する主役は、他でもない、君たち一人ひとりでです。

釧路高専は、君たちが自由に、そして力強く挑戦し、地域や世界の舞台で大活躍できるよう、教育環境と舞台を整えることに全力を尽くします。

臆せず挑戦し続け、高専という最高の学び舎で、「社会のお医者さん」として未来をクリエイトしてください。



情報工学分野 ●4年情報工学分野 大橋 優仁



私たち情報工学分野4年は、8月25日から29日にかけて東京と名古屋へ見学旅行に行ってきました。

初日は東京の株式会社クレスコを訪問しました。普段は見られない実際のオフィスや会議室予約システムなどを見せていただき、ITエンジニアが実際に働く現場の雰囲気を感じることができました。

2日目は国立科学博物館へ行きました。日本館や地球館を回りましたが、特に昔の計算機や通信機器の実物展示は面白く、情報工学を学ぶ学生として技術の進化の過程にとってもワクワクしました。

3日目は名古屋へ移動し、トーテックアメニティ株式会社と

株式会社タマディックの2社を見学しました。社長さんから直接お話を聞けたり、社内にサウナがあるユニークでおしゃれなオフィスも見ることができ、会社によって環境作りが全く違うことに驚かされました。

4日目の自主研修は、それぞれの興味に合わせて自由に行動しました。名古屋の街を散策して楽しむ人もいれば、壊れたPCを修理に出すために奔走する人もいたり、みんな思い思いの時間を過ごしてリフレッシュできました。

5日間を通して、実際の働く現場を知り、将来のエンジニア像を考える上でとても良い刺激をもらえた旅行になりました。





機械工学分野 ●4年機械工学分野 大松 未来



私たちは見学旅行で、さまざまな企業をまわって仕事の現場を見てきました。

1日目は羽田空港に集合し、ANAの機体工場を見学しました。普段は近くで見ることができない飛行機を間近で見られ、とても迫力がありました。

2日目は日本クロージャー平塚工場と日産自動車横浜工場へ行きました。日本クロージャーではペットボトルのふたが信じられない速さで作られていて驚きました。日産ではエンジンの歴史や実物のモデルを見ることができ、車の仕組みに少し興味がわきました。

3日目は名古屋に移動し、村田機械犬山事業所を見学しました。広い敷地の中にいくつも工場があり、特にベルトコンベアの自動仕分け装置が面白かったです。

4日目は滋賀のフジテック本社ビッグウィングを見学し、いろいろなエレベーターがつけられているのを見ました。大阪では、次の日に見学するサーモテックの社員さんたちと夕食を食べ、楽しく話すことができました。

最終日はサーモテック本社を見学し、細かい製図や機械ができるまでの工程を知ることができました。今回の見学旅行を通して、働くことについて考える良いきっかけになりました。





電気工学分野 ●4年電気工学分野 林

優和



私は8月末に4泊5日の見学旅行に参加した。

1日目は東京電力総合研修センターを見学し、電気がどのように発電され、運用されているかを学んだ。普段当たり前に使っている電気の仕組みを知り、社会の仕事に興味湧いた。将来の就職先を考える上でも良い参考になったと感じた。

2日目はNEC府中事業所を訪れる予定だったが、先方の都合で一里塚だけ見て移動することになった。その分時間に余裕ができ、長野から富山へ向かう電車旅をゆっくり楽しむことができた。車窓から見えた山や町並みが美しく、友達と話しなが景色を眺めた時間が印象に残っている。松本城では黒い天守の迫力に歴史の重みを感じた。

3日目は黒部ダムと立山黒部アルペンルートへ向かった。前

日遅くまで起きていたため朝は眠かったが、山道は霧で真っ白で幻想的だった。黒部ダムの放水は迫力があり、自然と技術のすごさを感じた。夜は富山の温泉旅館に泊まり、疲れた体をゆっくり休めた。

4日目は京都で観光をし、寺社や町並みを巡った。

5日目には京都鉄道博物館で車両を見学し、鉄道の歴史に触れた。

この旅行は多くの発見があり、友達との時間も含めて良い思い出となった。今回得た経験をこれからの学習や進路選択に生かしていきたい。





建築学分野 ●4年建築学分野 清野 竣也



今年の建築学分野の見学旅行は、4泊5日で東京・京都・大阪を巡りました。

初日は羽田空港に到着後、清水建設本社を訪れました。最新の建設技術や環境への配慮について学び、普段の授業では聞けないような話をたくさん伺うことができました。その後見学した「温故創新の森 NOVARE」では、伝統と新しさが調和した建築に触れ、建物づくりの奥深さを感じました。

2日目は木材会館2020や麻布台ヒルズなど、東京の現代建築を中心に見学しました。どの建物もデザイン性だけでなく、人や街との関わりを大切にされていてとても印象的でした。午後の自由時間には友人と街を歩き、建築を見ながら楽しく学ぶことができました。

3日目は京都へ移動し、この日は最高気温が40℃を超える暑さでしたが、京都国立博物館や金閣寺などを見学しました。伝統的な建築と美しい庭園を実際に見ることで、写真や資料では感じられない魅力を体感できました。

4日目は大阪に向かい、関西万博の会場を見学しました。世界各国のパビリオンを目の当たりにし、未来の建築の形を考えるきっかけになりました。午後は自由行動で、大阪の街並みや建物をそれぞれ見て回りました。

今回の見学旅行では、現地でしか味わえない学びや体験がたくさんありました。見て、聞いて、感じて、建築の面白さを改めて実感できた5日間でした。この旅行に関わってくださった皆さんに、心から感謝します。





「タイの学生との交流が広げてくれた新しい視点」

●TNI(泰日工業大学)サマープログラム 3年機械工学分野 坂本 彩恵

私はTNIサマープログラムに約10日間参加しました。私は将来海外のインフラに関する仕事がしたく、異なる文化や考えを実際に体験したいと思ったからです。

留学ではアユタヤ観光や、TNIの学生さんとの学習・交流があり、マングローブの植林など滅多にない経験もしてきました。また、買い物などで実際に現地の人とも交流がありました。留学を通して、自分はどんなふうに海外と関わって仕事がしたいのか、具体的に考えることができ、進路とも向き合える時間になりました。

タイの人はみんな親切で、特にTNIの学生さんは日本語がとても上手なのですぐに仲良くなることが出来ました。留学に行くのは緊張すると思いますが、少しでも興味があるなら、ぜひ勇気を出して行ってみてください！



ナイトマーケットの様子



タイの地元の食事



アユタヤ観光



帰国時にTNIのみんなと撮った集合写真



電車のホームでの写真



バンタトン通り

「将来へ繋がるタイ留学」

●TNI(泰日工業大学)派遣留学 5年機械工学分野 南 奏

私は7月25日から8月27日の34日間、タイのバンコクにある泰日工業大学(TNI)での交換留学プログラムに参加しました。英語を使って現地の学生と交流する中で、最初はうまく伝えられず悔しい思いをすることもありましたが、挑戦を重ねるうちに少しずつ自信がついていきました。授業や研究室での活動を通して、自分の考えに固執するのではなく、多角的に物事を判断し、柔軟に対応する力が大切になってくると感じました。

タイの人々の優しさや温かさに触れ、自分も周囲にいい影響を与えられる人になろうと思いました。今回の経験を通して、将来は世界で活躍できるエンジニアを目指したいと強く思いました。この留学は私にとって必ずまたタイに行きたいと思う一生忘れられない思い出になりました。たとえ期間は短くてもそれは自分にとって自信につながる経験になると思います。ぜひ一歩踏み出して、自分の世界を広げてみてください。

「たった1ヵ月で変わる人生」

●KMITL(キングモンクット工科大学ラカバン校)派遣留学 5年建築学分野 大島 宗高

今年の大学でのプログラムでは、一年生のグローバルコースの建築クラスに配属されました。大学とのコミュニケーションや授業は英語で行われ、建築の専門用語の理解や慣れない日常的な英会話には苦戦することもありました。しかし、最終的には現地で本当に多くの学びと友人を得ることができました。

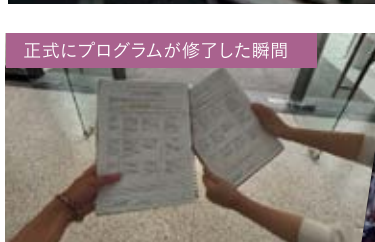
約一か月の留学を通して、文化の違いや自らの能力不足で様々な困難に直面しましたが、何より異国で生活することの楽しさを学べました。またこのような経験したことのないような環境に自分の身を置くことで、英語力や適応力などが大きく成長したと実感しています。

この経験を活かして、より広い視野で自分の将来を考えながら、グローバルに活躍できるよう英語力や専門的な能力を伸ばしたいです。

この夏休みは一生忘れることはありません。もし留学を考えている学生がいたら、躊躇せずに挑戦してください。人生を大きく変えるチャンスになるかもしれません。



Bang Saenで見たタイで一番きれいだった夕焼け



正式にプログラムが修了した瞬間



寝静まった街で輝くWat Arun

「初めての留学で学んだこと」

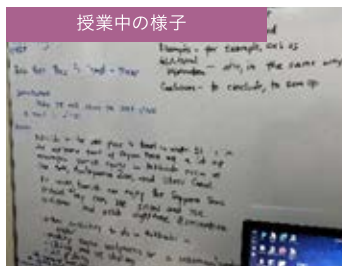
●海外語学研修 2年建築学分野 杉渕 夢来

フィリピン留学では、語学力だけでなく、異文化理解や柔軟な思考を深める貴重な経験を得ました。授業では英語のスピーキングやライティングを集中的に学び、先生やクラスメートとの対話を通じて、実践的な表現力を磨きました。また、フィリピンならではの温かい人々との交流を通じて、異文化の価値観を理解し、多様な考え方を受け入れる姿勢が身につきました。生活面では、自主性と適応力を養うことができました。

異国での生活は、言語の壁や生活習慣の違いに直面する場面もありましたが、その困難を乗り越えることで、自信と忍耐力が培われました。また、フィリピンの活気ある街並みや自然の美しさを体験しながら、学びの楽しさを実感することができました。

今後は、この留学経験を活かし、さらに語学力を向上させることはもちろん、グローバルな視点を持って行動していきたいです。

授業中の様子



サント・ニーニョ教会



「一週間のセブ島留学で学んだことと今後の抱負」

●海外語学研修 3年情報工学分野 吉橋 侑矢

今回の留学は、私の初めての海外研修でありました。私が一週間の間セブ島で研修を行って感じたことは、海外へ行くこと、またそこで異文化に触れることは重要なことだということです。私の今回の留学は語学研修であり、異文化に触れる機会は多くはありませんでしたが、それでも異文化について学ぶことは多かったです。私たちは日本でしばらく暮らしてきて常識を身に付けていますが、海外に出たとたんその常識の大半は通用しなくなり、手探りで雰囲気を感じ取る必要があるのではないかと思います。

私はこの経験をしたことでかなり人として成長できたと考えており、この経験が今回の留学で学んだ、もっとも重要なものだと思います。次に今後の抱負ですが、私はこの留学で異文化を体験し、少し英語も学習しました。この経験とスキルを将来生かしていきたい、ということを私の今後の抱負とさせていただきます。

夜のセブ島の様子



ECCセブ校から見た街の様子



「ベトナムで学んだこと」

●海外異文化理解研修 4年情報工学分野 上村 皓太

今回のベトナム短期留学では、現地の学生との交流を通して異文化への理解を深めることができました。英語での会話に苦戦する場面もありましたが、お互いに協力し合いながら交流を楽しむ中で、伝える力と積極性の大切さを実感しました。また、ベトナムの伝統料理を味わったり、街を観光したりすることで、教室では学べない貴重な経験を得ました。

この研修を通じて、世界に目を向け、自分の視野を広げることの重要性を学びました。今後は語学力と専門知識をさらに高め、国際的な場で活躍できる技術者を目指したいです。

留学を考えている皆さんには、ぜひ挑戦してみてください。一歩踏み出せば、自分を大きく成長させてくれる経験が待っています。

ダナン空港



ドラゴンブリッジ



ダナン工科大学



「ベトナムの文化や食について学んだこと」

●海外異文化理解研修 4年情報工学分野 樫田 凌玄

ベトナムに一週間の短期留学に参加し、現地の大学を三校訪問しました。それぞれの大学で学生との交流や授業見学を行い、日本とは異なる教育スタイルや学生の積極的な姿勢に大きな刺激を受けました。また、フォーやバインミーなどのベトナム料理はどれも美味しく、毎日の食事が楽しみのひとつでした。研修を通して、異なる文化を理解し、尊重することの大切さを学び、自分の価値観を見つめ直す良い機会にもなりました。

今後はこの経験を活かして、もっと広い視野で物事を捉え、積極的に行動していきたいと考えています。

留学に興味がある方は、ぜひ勇気を出して挑戦してみてください。実際に現地に行くことでしか得られない気づきや学びが、きっと人生の糧になるはずです。

ロボット



建学した建築会社



ベトナム料理バインミー





OPEN CAMPUS



SUMMER



OPEN CAMPUS



AUTUMN





高専祭「never ending juvenile」いかがでしたか！
絶えない「少年・少女」の情熱と輝きをテーマにしていました。当日はとても「never ending juvenile」を感じられる2日間だったとおもいます！

各企画・展示やパフォーマンスなどたくさんの学生に参加していただきありがとうございました！4年間学生会として高専祭の運営をしてきましたが天候にも恵まれ今まで1番素敵な高専祭だったんじゃないか！と思っています。

私は高専祭終了と同時に学生会も引退で寂しい気持ちですが来年は今年を超えた高専祭を開催してくれると勝手に期待しています！4年間ありがとうございました！

最後に、協力していただいた企業の皆様、ご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました！

4年建築学分野 鈴木 美桜



2025大阪・関西万博でのイベントに参加してきました

9月26日(金)～28日(日)の3日間、2025大阪・関西万博 EXPOアリーナ「Matsuri」で開催されましたイベント「SPORTS of HEART」の『ものづくりプロジェクト』に、担当する卒業研究生である2名とともに参加させていただきました。

このイベントは、障がいのある人もない人もみんなで一緒に楽しむ「スポーツ×文化」の祭典で、2016年より毎年、全国各地にてイベントが開催されています。今回は、笹嶋悠貴さんが卒業研究で取り組んでいる「3D-CADモデルによる機構学習VRプラットフォーム」のプロトタイプを来場者の方々に体験してもらいました。

学生とともに貴重な経験をすることができました。

函館高専 清水一道校長、本校 長尾和彦校長をはじめ、参加に際してご尽力いただきました関係者各位には感謝申し上げます。

校務主事 渡邊 聖司(機械工学分野)

参加学生の感想

夏季休業中に作成した卒業研究のプロトタイプを、来場者のみなさまに体験していただき、アンケートにもご協力いただきました。改善点も見いだすことができ、貴重な機会でした。下級生にも機会があれば積極的に各種イベントに参加してほしいと思います。

5年 機械工学分野 笹嶋 悠貴

参加学生の感想

笹嶋さんのサポートとしてイベント参加しましたが、全国の企業や他高専の活動を見られたこと、函館高専の学生とも交流できたことは、とても貴重な経験になりました。釧路高専での活動も多くの方に知っていただけたと感じています。

5年 機械工学分野 南 奏





一般教育部門 准教授 大沼 敦子

英語科に着任した大沼敦子です。東京出身です。日本の大学を出たのちアメリカの大学院で勉強しました。

専門は第二言語習得です。母語ではない言語を身につける過程を研究する分野です。新しい言語を学ぶとき何にまずきやすいか、街中の看板などの言語景観、言語使用の経時的変化などが研究対象です。

何よりも興味があるのは、言語をコミュニケーションの場でどう生かすかです。言語はさまざまな場面で自分を守

り、チャンスを広げる武器になってくれるので。

できないことができるようになったときの、学生さんのほんのり誇らしい笑顔を見るのが好きです。みなさんが学校を離れて何年か、あるいは何十年か後に「釧路高専で過ごしてよかったかも」と思い出してもらえるようにサポートできたらと思います。好きな食べ物はうなぎ、シマチョウ、お餅、そしてチーズ味のノンフライスナック菓子です。よろしくお願いいたします。



電子工学分野 准教授 市村 進

2025年4月1日付で、電子工学分野 准教授に着任いたしました。

前職は、東北大学大学院にて特任准教授として、メタマテリアルの創製と次世代放射光での材料評価をおこなってきました。

本学では、「電磁気学」、「電子材料」、「電子回路」、「電子材料にまつわる研究」を担当します。

以前、塾講師、家庭教師をしていた経験があり、その当時のスキルが活かされているように思います。

また、一部、AIを取り入れた学習法を新規に取り入れつつありまして、試行錯誤しております。

今後ともよろしくお願いいたします。



建築学分野 准教授 野口 巧巳

今年度4月より建築学分野の准教授として着任いたしました。

室蘭工業大学で学位を取得後、八戸工業大学の助教、講師を経て現在にいらします。

専門は建築材料学で、様々な建築物に使用されている材料の耐久性や強度・性能、その評価方法を研究しており、担当科目も「建築材料」、「建築工学

実験」、「コンクリート工学特論」など、主に建築材料系科目となります。

建築の知識や研究方法などを学生たちにわかりやすく伝えられるよう尽力していきたいと思っています。

よろしくお願いいたします。

**一般教育部門 講師 橋堀 恭矢**

北海道虻田郡洞爺湖町の温泉街に生まれ、室蘭の高校、東京の大学、札幌の大学院を経て、2025年度4月から釧路高専に赴任しました。

専門は特異点論を用いた微分幾何で、はめ込みとは限らない写像や退化計量を対象に研究しています。例えば、単位法線ベクトル場を備えたフロントル(カस्प边・ツバメの尾など)や非フロントル(交叉帽子など)に対して、曲率などの幾何不変量とオイラー標数などのトポロジー不変量の関係(ガウス・ボ

ンネ型定理など)の拡張可能性を考察しています。

実は高校時代は数学が嫌いでしたが、理論を一から見直す学びを重ねる中で興味が育ち、気づけば研究に携わる立場になりました。この経験を生かし、授業では暗記に偏らず「普通に考えれば自然に答えが出てくる」をテーマに、数学の見方や考え方を伝えていきます。その姿勢が学生の皆さんの将来に良い影響をもたらす一助となるよう努めます。

**機械工学分野 助教 岡本 卓也**

令和7年4月より機械工学分野の助教として着任しました岡本卓也と申します。

3月までは北見工業大学の博士後期課程に在籍し、3Dプリンティングや画像処理に関する研究を行って参りました。

大学院修了後すぐに教員となったためわからないことも多いですが、学生や教職員の方々に支えてもらいながら

日々を過ごしています。

これから釧路高専にて皆さんの支えとなれるように邁進して参りますので、何卒よろしくお願いします。

**情報工学分野 助教 田森 湧斗**

情報工学分野の田森湧斗です。釧路高専専攻科を卒業し、社会人経験を経て7月から教員として戻ってきました。

学生時代はグラフィカルゴリズムを研究していましたが、現在は自然言語処理をテーマにしています。

これまで地域のプログラミング教室を運営し、子どもたちへのIT教育にも携わってきました。

授業のほか地域活動にも関わりつつ、学生とともに学び合いながら、釧路から新しい技術や価値を発信していければと思います。



12月26日(金)

閉寮日

12月26日(金)
～1月2日(金)

冬季休業

1月5日(月)

開寮日・
臨時休校
(11月1日の振替)

1月13日(火)

月曜授業

1月16日(金)

本科推薦選抜
準備のため、
17時完全下校

1月17日(土)

本科
推薦選抜

1月21日(水)

後期
補講期間

1月22日(木)

CBT実施
予定日2月5日(木)
～10日(火)後期末試験・補習・
補講・再試験期間
(専攻科2年生)2月5日(木)
～12日(木)

後期末試験

2月6日(金)

本科学力選抜
準備のため、
17時完全下校

2月8日(日)

本科
学力選抜

2月12日(木)

答案返却日
(5年生)

2月14日(土)

退寮日
(5年生)2月14日(土)
～15日(日)

寮居室替え

2月16日(月)

合同HR
(1～4年生)2月13日(金)
～16日(月)答案返却期間
(1～4年生)

2月17日(火)

仮閉寮日

2月17日(火)
～24日(火)後期補習・
再試験期間

3月2日(月)

学年末再試験
時間割案内
(1～4年生)3月4日(水)
～6日(金)学年末再試験
(1～4年生)

3月7日(土)

閉寮日
(1～4年生)

3月9日(月)～

学年末休業

3月16日(月)

第57回本科卒業式、
第21回専攻科修了式